

大会宣言

私たち交通労連は第 58 回年次大会を開催し、運動方針を補強する 2021 年度の活動方針等を決定した。

新型コロナウイルス感染症が暮らしを直撃している未曾有の事態の中、現場で働く仲間の雇用や将来への不安は日々高まっており、産業別労働組合としての存在価値とその役割があらためて求められている。今後の活動にあたっては、可能な限りの感染防止策を取るの当然のこと、WEB 等を活用した「新しい活動様式」も積極的に取り入れながら、雇用と労働条件を守るための取り組みをさらに強めていくことが重要である。

新型コロナウイルス感染症の拡大を発端として多くの問題・課題が顕在化してきた今、日本は大きな転換点に立っている。超少子高齢化の進行や大きな社会変化による将来不安に加え、米中摩擦をはじめとする世界情勢の不安定化など、取り巻く環境はこれまでになく厳しく、まさに激動の時代が到来している。今までの価値観や既成概念の変化によって、社会や暮らしはもちろん、さらには働き方までもが大きく変わろうとしている中、働く者の声を政治の場に反映させていくことも労働組合の大きな役割のひとつである。衆議院の任期満了が来年 10 月に迫る中、現在の情勢からすればいつ解散総選挙が行われてもおかしくない状況でもあることから、常在戦場で臨まなければならない。

交通運輸、自動車学校や関連産業においては、働き方改革による人材の確保をはじめとして多くの課題が山積しており、「産業政策課題の実現」に向けて関係各所との連携をさらに強めつつ全力を挙げて取り組まなければならない。同時に「春季生活闘争」と「組織の強化・拡大」を『三位一体』で取り組み、加盟組合にとって魅力と頼りがいのある産別の実現をめざす。

「自由にして民主的な労働運動」を堅持し、掲げた諸方針に基づく取り組みを着実に進め、『組織防衛・強化・拡大に総力を結集し 力強い交通労連の実現を！』をスローガンに、全加盟組織が一丸となって力強い運動を展開していく。

以上、宣言する。

2020 年 10 月 7 日

交通労連第 58 回年次大会